

2022年10月高等教育自学考试福建省统一命题考试

第二外语（日语） 试卷

（课程代码 00840）

注意事项：

1. 本试卷分为两部分，第一部分为选择题，第二部分为非选择题。
2. 应考者必须按试题顺序在答题卡（纸）指定位置上作答，答在试卷上无效。
3. 涂写部分、画图部分必须使用2B铅笔，书写部分必须使用黑色字迹签字笔。

第一部分 选择题

一、单项选择题：本大题共10小题，每小题1分，共10分。在每小题列出的备选项中只有一项是最符合题目要求的，请将其选出。

1. 男は隣の店で雑誌を買った。
A. となり B. どなり C. りん D. とうなり
2. 李さんは、日本語も英語もとても上手です。
A. うえて B. じょうず C. かしゆ D. へた
3. 大学の試験には、どんな問題が出るのか心配です。
A. もんらい B. もんたい C. もんない D. もんだい
4. 正月の伝統的な行事がきれいな人もいます。
A. こうじ B. こうこと C. ぎょうじ D. ぎょうじつ
5. これらの性質は十分に利用されて、家や乗り物の窓ガラス、コップや瓶、鏡などの製品が作られている。
A. せひん B. せいひん C. せいひ D. せいびん
6. 相手の苦勞を認める言葉として、「ごくろうさん」がある。
A. くろう B. くのう C. くろ D. くらう
7. 一見簡単そうな聞き上手は、むしろ話すことよりも難しい部分もあります。
A. いけん B. いちけん C. いっけん D. ひとみ
8. 詩の言葉は、正確な事実の伝達よりも、詩人の心が読む人の心に伝えられればよいのである。
A. じっじつ B. じしつ C. じじつ D. じじず

9. 東京のように多くの人口が集中しているところでは、どうしても地下に空間を求めなければならない。

- A. くうかん B. くかん C. そらだ D. そらあいだ

10. 一生懸命分かっていてはいますよと反応を示してあげることです。

- A. はんもう B. はんどう C. はんおう D. はんのう

二、单项选择题：本大题共10小题，每小题1分，共10分。在每小题列出的备选项中只有一项是最符合题目要求的，请将其选出。

11. 田中さんとは映画館の前であう約束でした。

- A. 見う B. 合う C. 会う D. 遭う

12. 全くの基礎からけんちくの技術を習う。

- A. 建築 B. 健築 C. 鍵築 D. 建築

13. 電車が、ホームに入ってきてくるときは、ホームのはしに引いてある線から外に出ないよう、気をつけてください。

- A. 辺 B. 橋 C. 端 D. 沿

14. 昨日ならった言葉の意味が思い出せない。

- A. 学った B. 練った C. 勉った D. 習った

15. あの時の写真ができましたので、どうふういたします。

- A. 胴封 B. 同封 C. 同風 D. 同夫

16. 正月に大勢の客が来るので、会うのがめんどうだと思ふ人もいます。

- A. 面倒 B. 麻倒 C. 不便 D. 免倒

17. 木の下に腰を下ろして一時間ぐらい、湖をながめていました。

- A. 見がめて B. 眺めて C. 望がめて D. 覗がめて

18. 自分の心を人に伝えれば、喜びはばいかし、悲しみははんげんする。

- A. 半減 B. 畔減 C. 反減 D. 犯減

19. 日本人は他人に贈り物をする際、それをまずきれいな紙で包み、更にその上を風呂敷で包んでじさんするのをつねとしたと思われる。

- A. 自参 B. 持参 C. 自算 D. 持算

20. 山田さんは、この工場ではたらいています。

- A. 動い B. 労い C. 働い D. 努い

三、单项选择题：本大题共20小题，每小题1分，共20分。在每小题列出的备选项中只有一项是最符合题目要求的，请将其选出。

21. 今日はお客さまが来ます。_____ことをしないように、気をつけてください。

- A. 親切な B. 失礼な C. 心配な D. 丁寧な

22. さっきここで本を_____人は誰ですか。

- A. 読む B. 読んで C. 読んでいる D. 読んでいた

23. 喉が痛いときは、歌を_____ほうがいいですよ。

- A. 歌わない B. 歌わずに C. 歌わないで D. 歌わなくて

24. このテストは、70点_____とると卒業できます。
A. 以上 B. 以外 C. 以内 D. 以下
25. 妹は、どんなスポーツ_____できます。
A. は B. が C. とか D. でも
26. この大学とあの大学と_____が近いですか。
A. だれ B. どう C. どの D. どちら
27. 玄関のベルが鳴ったけれど今頃だれ_____。
A. らしい B. ようだ C. だろう D. みたい
28. わたしは、日本に来てから_____この家に住んでいます。
A. もっと B. きっと C. ずっと D. やっと
29. お金を入れてボタンを_____と、切符が出てきます。
A. おす B. おして C. おした D. おそう
30. 困っているときあの人に助けてもらって、涙が出る_____ありがたかった。
A. ほど B. あまり C. とき D. ため
31. 漢字の縦の画は、上から下へ_____なりません。
A. 書かなかつたら B. 書かなければ C. 書かないと D. 書かないなら
32. 早く_____。学校におくれるよ。
A. 起きろ B. 起きず C. 起きるな D. 起きいて
33. 昨日遅くまでテレビを見ていたから、本田さんは、きょうはとても眠い_____。
A. からだ B. まだだ C. はずだ D. ばかりだ
34. 日本で看護婦として働いたことは、いつまでも忘れられない思い出_____残るでしょう。
A. として B. という C. について D. にとって
35. わたしは手紙の返事をまだ書いていません。いますぐ_____と思います。
A. 書く B. 書くよう C. 書きます D. 書こう
36. 私は、先生のお宅でおいしいお酒を_____。
A. いただきました B. めしあがりました
C. お飲みしました D. お飲みになりました
37. 本田さんとは、20年前に一度会った_____。
A. ことだ B. きりだ C. ほどだ D. ばかりだ
38. 「_____。どうぞお上がりにください。」「失礼します。」
A. 行ってまいります B. ごめんください
C. 行ってらっしゃい D. よくいらしゃいました
39. 彼は、けがをした足が痛むのもかまわず、_____。
A. 大事な会議に欠席した B. 医者に足を見てもらった
C. 工事現場を見てまわった D. 骨折していることがわかった

40. あしたはほかの仕事をしなければならないのだから、この仕事をやりおわらないまま帰る_____。
A. せいだ B. ものである
C. ことにはならない D. わけにはいかない

第二部分 非选择题

四、将下列短文译成中文：本大题共6小题，每小题10分，共60分。

41. 大学は、七月の初め、そのほかの学校は、二十三、四日ごろ、夏休みになります。夏休みは、約一カ月半です。

この休暇に海や山へ行く人や旅行する人が多いのですが、学生のなかには、アルバイトをするものもいます。学生は、運賃などは五割ぐらいしか払いませんから、学校にいる間に、いろいろなところを旅行します。それで、夏休みが近付くと、北海道へ行く列車は、そういう人々でいっぱいになります。暑い所から涼しい所へ逃げるのは、自然なことでしょう。一月か、遅くとも二月末までにホテルを予約するのが普通です。そうでなければ、泊まる部屋がないかもしれません。

42. 人の話す声には、その人の気持ちがよく表れるものである。人の顔に明るい表情や暗い表情があるように、人の声にも表情がある。気持ちが明るいときは、自然に声の表情も明るくなる。

わたしたちは、いつも明るい気持ちを保っているわけではない。ときには、暗くなったりする。そのようなときには、声の表情も暗くなりがちである。そういう場合、自分の気持ちをそのまま声に表したとしたら、回りの人たちは、どう感じるであろうか。みんなで気持ちよく生きていくためには、こうした点についてもよく考えることが大切である。

43. 地図に詳しく、旅に慣れた人でも、はじめての土地は分かりにくい。旅に出ればかならず道を聞く必要がある。ことに旅に慣れない人は、「この道をまっすぐ」と教えてもらっても、しばらく歩いているうちに、「間違っただけではないか」と心配になり、同じことを二度三度と繰り返して聞く。道を教えるということは、なかなかむずかしい。自分の家にはじめてくる人に道を教える場合を考えてみるとよい。正確に教えたつもりでも、まちがえずにまっすぐ来てくれる人はあまり多くない。そこで、自分が教えてもらう側に立ったとき、そのことを頭において聞くようにしたい。

44. むかしは、正月にはいつもよりきれいな着物を着て、いつもよりよい料理を食べ、遠くから親類の人や友人が集まって、にぎやかに話し合った。子供たちも、正月には特別にお金をもらって、好きな物を買うことができた。正月は、「いつもと違う」生活をするときであった。

そのためには、家じゅうをよく掃除し、正月のための特別のかざりをつけた。家を大切にしたのは、家が生活の場所だったからである。

今は、住宅の利用方法が変わった。自分の家で結婚式や祝いの宴会をする人は少ない。たいていの人々がホテルを使う。人にごちそうするときは、町のレストランに行く。人と話をするときは、喫茶店で会う。その上、正月まで、ホテルで過ごす人がふえた。

45. 四月は、たくさんの新しい社員が生まれるときである。この人たちがよい社員になるように、会社は教育を始める。

教育の方法はいろいろである。会社によって違う。有名な人に講演を頼む。言葉づかいを教える。団体生活を送らせ、勝手に欠席することを禁止する。

最近ある出版社が社員教育の教科書を作ったが、その中で、先輩の社員が新しい社員に分かりやすく社会人の経験を教えている。出勤の前に朝ご飯を食べなさい、新聞を読みなさい、十分ぐらい早くうちを出て、すいている電車を選んで乗りなさい、などと教えている。

会社が社員の再教育のために学校を作る場合もある。会社の事業を大きくしたい場合には、社員を教育する必要がある。例えば、海外の事業を盛んにするために、社員に外国語の教育を行う場合も多い。

46. ある食品会社の営業部員の話によると、最近の若い消費者は、店頭で商品を買うより、同じものを自動販売機で買うほうが好きらしいのだ、という。

たぶん、近頃の若者は人と口をきくのをおっくうがる傾向があつて、店の主人と挨拶を交わすのさえ面倒くさいのだろう、というのがその営業部員の解釈であつた。そういえば、彼らにとっては、子供のときから買い物はスーパーマーケットでするものであり、商品は手にとって黙ってレジスターに運ぶもの、という習慣ができあがっている。核家族のなかに生まれ、受験勉強とテレビ見物で育った子供は、人づきあいの訓練ができておらず、他人と話すことがわずらわしくなるのは当然だ、という見方もあろう。昔から、社交がへただという定評のある日本人であるが、この調子では今後ますます、日本社会には仏頂面が氾濫することになる、という心配も否定できない。